

子どもの体力向上に向けた方策等について【島本町教育委員会】

小学校

(課題)

意識調査の「運動が好き」、「体育の授業が楽しい」は大阪府・全国とほぼ同じである。男女とも全体的に体力合計点(平均値)が低く、特にD層(42~49)、E層(~41)の児童の割合が高く、運動が不得意な児童も一定数いることから、体育の授業における運動量を増やし、基本的な動作(投げる・跳ぶ等)が身につくような指導(どのように体を動かせば身につくのか等の具体的な動作などの助言)が求められる。

また児童質問紙集計より、「体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか」の項目の肯定的意見が他の項目と比べて低い値となっている。(男子69.5%、女子71.3%)



**子どもの体力向上に向けて、
低学年から基本的な動きを身につけて、運動量を確保する体育の授業展開を！**

- **低学年から基本的な動きを身につける**
→体育の授業において、個々の児童が「できる喜び」を感じられるように、発達段階を考慮し、場の工夫やスモールステップの授業づくりを行う。
- **「運動量を確保した授業づくり」を展開する。**
→体を動かす場面を多く取り入れた授業づくりを行うとともに、授業外でも運動をする機会をつくる。
- **「体力づくり推進計画」の作成・見直し**
→学校全体で体力づくりの継続的指導を推進していく。
- **体の動かし方や運動の仕方を理解させながら運動ができるようになる指導**
→「授業の目標(目当て・ねらい)の提示」「授業のふり返り」の重要性を再認識し授業づくりを行う。
→ビデオ・デジカメ・タブレットなどを用いて自分や友達の動きを撮影し活用するなどの対話的な活動を取り入れる。

→島本町教育研究会、体育部会や大阪府立島本高等学校、大学(連携協定)と連携して実技講習会を開催する。